

# まちの出来事



## 冬の味覚は海産まつりで

2日間で7700人の入出



▲会場には秋サケなど新鮮な海の幸がどっさり

には秋サケや筋子、イクラなどサケ製品、貝柱や玉冷などホタテ製品、毛ガニやタラバガニなど甲殻類を中心に、飯ずし、珍味、燻製など多くの商品がズラリ。お歳暮や正月用にと買い求める多くの市民でにぎわいました。

主催した紋別市水産加工

紋別の水産加工業界の取扱品目を一堂に集め、直売セールを行う「第26回もんべつ海産まつり」が12月10日から2日間、紋別漁業協同組合市場集荷所で開かれました。会場

開発協会（竹本義之会長・事務局Ⅱ市産業部水産課）のまじめによると、来場者は2日間で7700人と「まずまずの人数」。特に好天に恵まれた初日は4200人を数えま



▲お歳暮や正月用にと多くの市民が購入しました



▲加工品も豊富に取りそろえられました

した。集荷所内のメイン会場には18店が開店。抽選会会場などは屋外にテントが並びました。

以前はガリヤ地区の屋外で開催していましたが、昨年は初日に暴風でテントが飛ばされるなどしたため、急きよ同集荷所に変更した経緯があります。同協会の竹本会長、長尾哲也実行委員長らは「天気

の心配が無くなり、安心して開催できます」と明るい表情で接客に努めていました。市内の水産加工業界では、2月の流水まつりでも紋別産品の直売を行う「味覚の市」を開く予定です。

## 車椅子をお年寄りに

大谷幼稚園が贈る

大谷幼稚園（橋淑生園長）は11月25日、車椅子1台を介護老人保健施設サン・ヒルズ紋別（松野正吾理事長）にプレゼントしました。同園が平成14年度から行っている福祉

事業で、これまでサン・ヒルズへの5台を含め、8台を市内の福祉施設などに贈っています。

当初はアルミリングプルでしたが、膨大な量が必要で数年に1台のペースとなることから、チャリテイバザーを開き、その収益金で購入する方法に変更したといっています。

こうした取り組みに松野理事長は「新しい車椅子を使う人は、皆さんの元気をもらって、今まで以上に元気に生活できると思います」と感謝していました。



▲年長児が訪問して車椅子をプレゼントしました